

第6回県民満足度調査の結果

平成19年8月
宮 城 県

第 6 回県民満足度調査の結果

目 次

趣旨	1
調査の概要	1
調査結果の概要	2
1 満足度	2
(1) 富県宮城の実現～県内総生産 10 兆円への挑戦～（取組 1～12）	2
(2) 安心と活力に満ちた地域社会づくり（取組 13～26）	4
(3) 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり（取組 27～33）	6
2 優先項目（取組 1～33）	8
資料編	17
1 回答者属性一覧	18
2 満足度集計表	19

第6回県民満足度調査の結果

趣旨

行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号）第7条第2項の規定に基づき、第6回県民満足度調査で把握した県民の意識に関する情報を取りまとめ、公表するものです。

調査の概要

1 調査目的

宮城県では、平成19年3月、将来の宮城のあるべき姿や目標を県民と共有し、その実現に向けて県が優先して取り組むべき施策を明らかにする「宮城の将来ビジョン」を策定しました。「宮城の将来ビジョン」では、県政運営の理念である「富県共創！活力とやすらぎの邦づくり」を実現するため、3つの政策推進の基本方向、14の課題に沿って、宮城の未来をつくる33の取組を行うこととしております。

第6回県民満足度調査は、これまで様々な分野で進めてきた県政を、この33の取組の区分で整理した上で、それぞれにおいて県民がどの程度満足しているか、また、特にどのようなことを優先すべきと考えているかを調査し、県の行政活動を評価する上での重要な情報として活用するとともに、政策等の企画立案や予算に反映するために実施したものです。

2 調査対象

宮城県に居住する20歳以上の男女 4,000人（選挙人名簿から無作為抽出）

3 調査方法

郵送方式

4 調査期間

平成19年4月18日（水）から平成19年5月9日（水）まで

5 調査項目

県政に関する33の取組の区分での満足度

10年後をめざして特に優先すべきと思う項目

回答者属性及び調査方法等に関する項目

6 回収結果

回収数 1,778通

回収率 44.5%

7 調査結果の見方

比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の計が100%にならないことがあります。

8 その他

第6回調査の実施に当たって、調査項目や回答方法の見直しを行っています。このため、これまで（第1～5回）の調査結果との比較はできない内容となっています。

調査結果の概要

1 満足度

取組ごとに満足度を「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「わからない」の5つの選択肢により調査したところ、次のような結果となりました。

(1) 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～

政策推進の基本方向・課題		取組	
富 県 宮 城 の 実 現 の 挑 戦	1 育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組1	地域経済を力強くけん引するものづくり産業（製造業）の振興
		取組2	産学官の連携による高度技術産業の集積促進
		取組3	豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興
	2 観光資源・知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組4	高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興
		取組5	地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現
	3 地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組6	競争力ある農林水産業への転換
		取組7	地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保
	4 アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組8	県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進
		取組9	自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成
	5 産業競争力の強化に向けた条件整備	取組10	産業活動の基礎となる人材の育成・確保
		取組11	経営力の向上と経営基盤の強化
		取組12	宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

調査結果の特徴(1)

満足度を評価した回答者のみで県全体の満足度を見ると（図1-2）、12取組中10取組で「満足・やや満足」が6割を超えています。

このうち、「取組12：宮城の飛躍を支える産業基盤の整備（78.4%）」、「取組9：自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成（74.7%）」、「取組5：地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現（74.2%）」、「取組7：地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保（72.0%）」、「取組3：豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興（71.8%）」の5つの取組において、「満足・やや満足」が7割を超える高い数値を示しています（図1-2）。

「満足・やや満足」の割合が低い取組は、「取組4：高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域産業の振興（47.0%）」、「取組11：経営力の向上と経営基盤の強化（55.6%）」となっています（図1-2）。

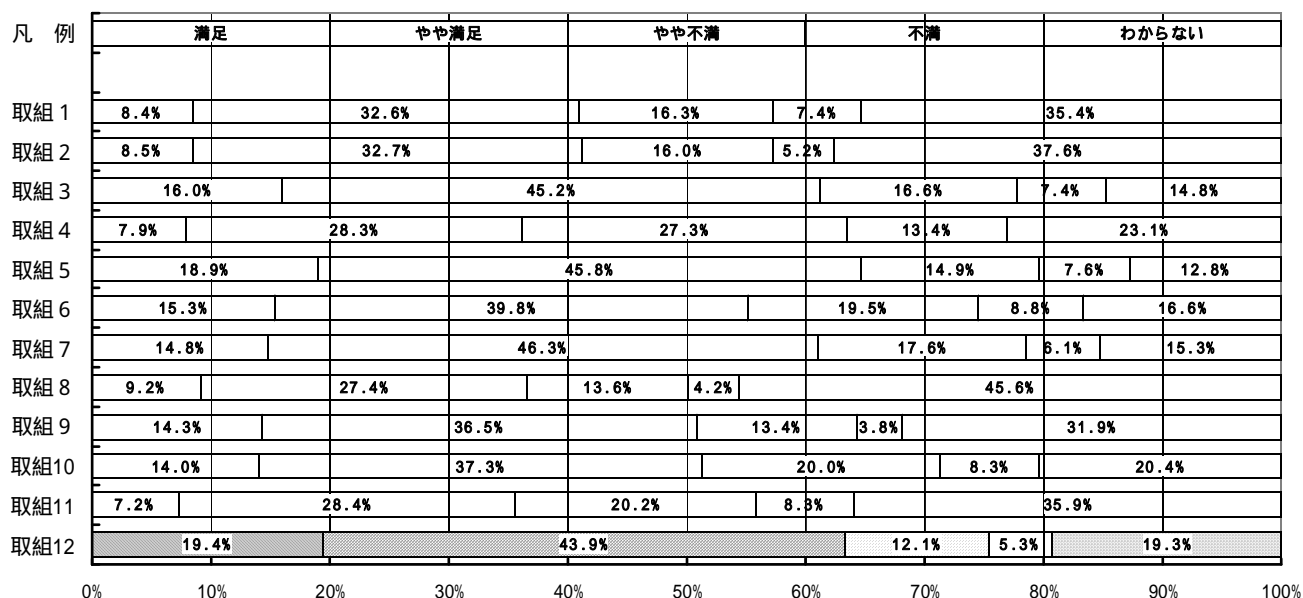
「取組8：県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進」については、「わからない」が45.6%と、回答者の4割を超えています（図1-1）。

性別では、すべての取組において、男性の「満足・やや満足」の割合が県全体よりも低く、女性では県全体よりも高くなっています（表1）。

年齢別では、すべての取組において、65歳未満の「満足・やや満足」の割合が県全体よりも低く、65歳以上では県全体よりも高くなっています（表1）。

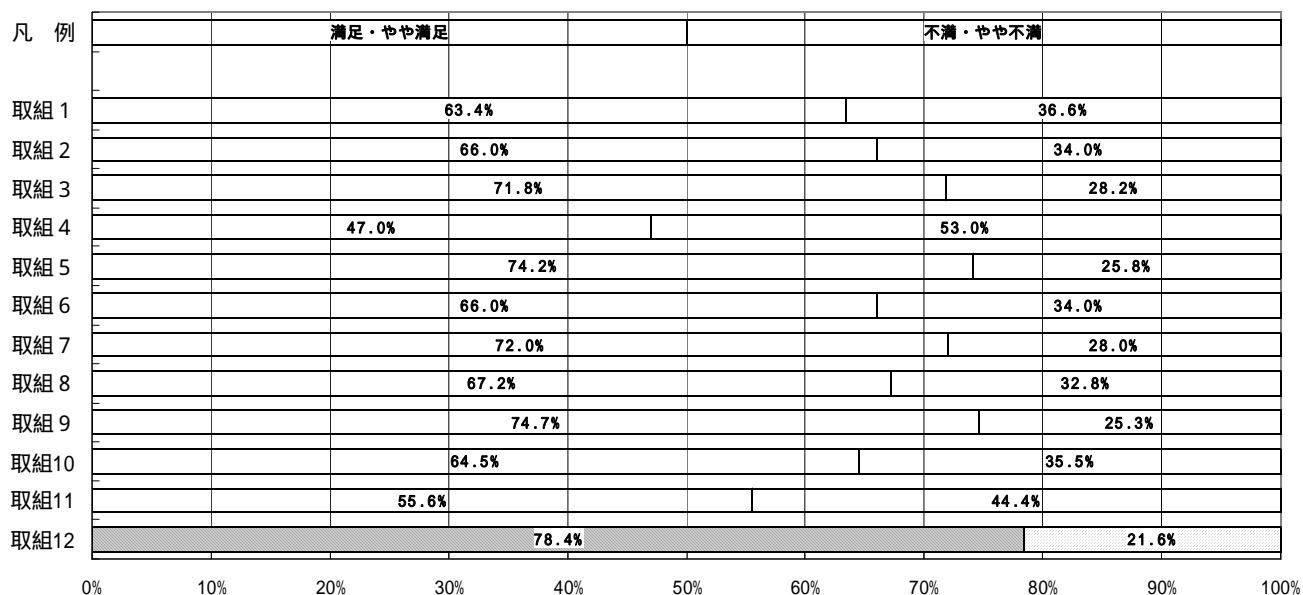
圏域別に最も満足度が高い取組を見ると、気仙沼・本吉圏域では「取組7：地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保」、その他の圏域では「取組12：宮城の飛躍を支える産業基盤の整備」となっています（表1）。

図1-1 取組1～12に関する満足度（県全体 / 「わからない」の回答者を含む。）



本図は、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「わからない」の5つの選択肢について、それぞれの回答者の割合を表したものです。

図1-2 取組1～12に関する満足度（県全体 / 「わからない」の回答者を除く。）



本図は、回答全体から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者のみを「満足・やや満足」と「不満・やや不満」の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

表1 取組1～12に関する回答者属性別満足度

	県全体	男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南圏域	仙台圏域	大崎圏域	栗原圏域	登米圏域	石巻圏域	気仙沼・本吉圏域
取組1	63.4%	61.3%	66.1%	58.7%	78.3%	68.5%	62.8%	64.2%	61.0%	62.5%	64.4%	61.5%
取組2	66.0%	63.8%	69.2%	63.5%	74.9%	69.6%	63.7%	65.6%	65.3%	66.2%	70.1%	64.8%
取組3	71.8%	66.7%	77.7%	70.5%	77.4%	78.2%	69.5%	69.0%	64.7%	76.2%	73.3%	73.5%
取組4	47.0%	44.4%	49.8%	44.0%	57.5%	51.2%	44.3%	45.5%	44.2%	50.3%	44.3%	49.2%
取組5	74.2%	71.7%	76.9%	72.8%	79.5%	76.5%	71.0%	76.0%	73.0%	82.2%	68.4%	75.0%
取組6	66.0%	59.9%	72.6%	63.4%	75.5%	64.4%	67.8%	65.3%	59.9%	66.5%	69.2%	69.9%
取組7	72.0%	69.2%	75.6%	70.9%	77.3%	76.2%	66.8%	73.6%	71.9%	73.9%	68.1%	78.5%
取組8	67.2%	64.0%	71.6%	63.8%	78.1%	67.8%	64.4%	65.6%	66.0%	64.9%	69.2%	74.6%
取組9	74.7%	71.1%	79.2%	71.5%	84.6%	70.7%	73.3%	73.4%	75.4%	80.4%	75.0%	76.0%
取組10	64.5%	60.3%	68.9%	61.2%	74.8%	66.5%	58.5%	63.8%	64.4%	67.4%	63.7%	67.5%
取組11	55.6%	53.4%	58.3%	50.9%	70.8%	52.7%	53.9%	51.9%	53.2%	61.7%	56.4%	59.9%
取組12	78.4%	77.9%	79.5%	76.7%	85.7%	82.8%	79.5%	77.1%	76.5%	82.4%	82.3%	71.0%

本表は、回答全体から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者に占める「満足・やや満足」の割合を属性別に表したものです。

(2) 安心と活力に満ちた地域社会づくり

政策推進の基本方向・課題		取組	
安心と活力に満ちた地域社会づくり	6 子どもを生き育てやすい環境づくり	取組13	次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり
		取組14	家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成
	7 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり	取組15	着実な学力向上と希望する進路の実現
		取組16	豊かな心と健やかな体の育成
		取組17	児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり
	8 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組18	多様な就業機会や就業環境の創出
		取組19	安心できる地域医療の充実
		取組20	生涯を豊かに暮らすための健康づくり
		取組21	高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり
		取組22	障害があっても安心して生活できる地域社会の実現
取組23		生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	
9 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組24	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	
10 だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組25	安全で安心なまちづくり	
	取組26	外国人も活躍できる地域づくり	

調査結果の特徴(2)

満足度を評価した回答者のみで県全体の満足度を見ると(図2-2), 14取組中8取組で「満足・やや満足」が6割を超えています。

このうち、「取組23：生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興(73.9%)」では、「満足・やや満足」が7割を超える高い数値を示しています(図2-2)。

「満足・やや満足」の割合が低い取組は、「取組18：多様な就業機会や就業環境の創出(52.9%)」、「取組13：次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり(53.9%)」となっています(図2-2)。

「取組26：外国人も活躍できる地域づくり」については、「わからない」が44.1%と、回答者の4割を超えています(図2-1)。

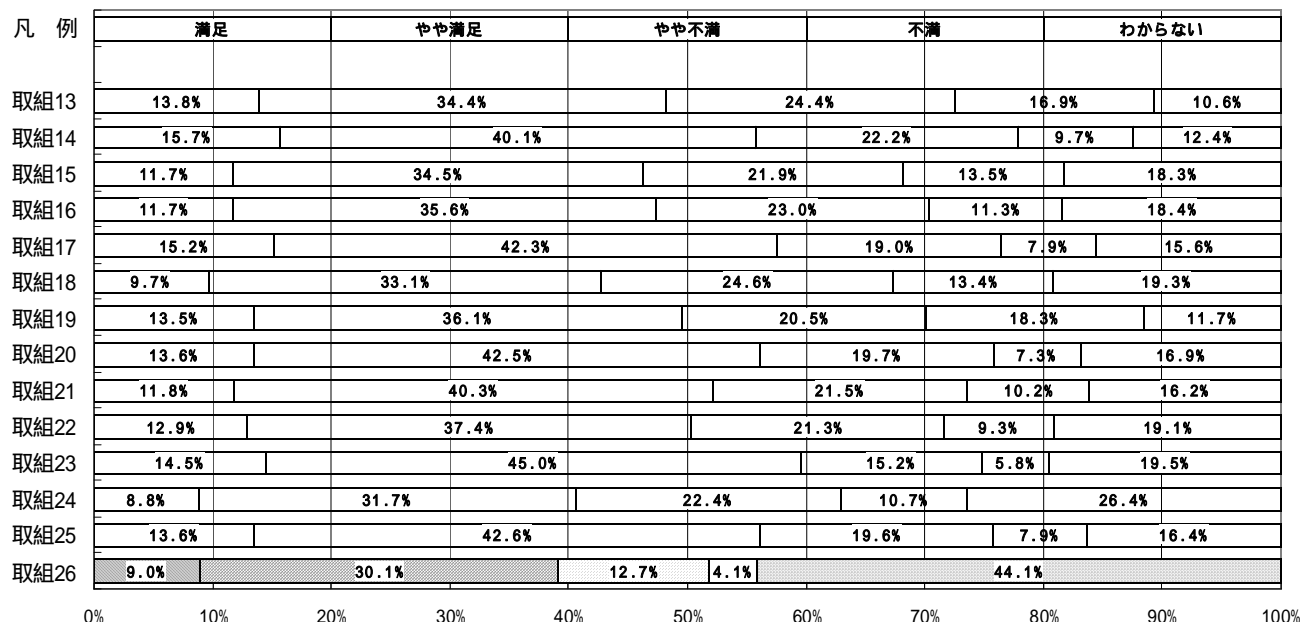
性別では、14取組中13取組において、男性の「満足・やや満足」の割合が県全体よりも低く、女性では県全体よりも高くなっています(表2)。

年齢別では、すべての取組において、65歳未満の「満足・やや満足」の割合が県全体よりも低く、65歳以上では県全体よりも高くなっています(表2)。

圏域別では、「取組19：安心できる地域医療の充実」について、「満足・やや満足」が登米圏域(46.0%)、栗原圏域(49.2%)では4割台なのに対し、仙台圏域(65.7%)、大崎圏域(62.9%)、仙南圏域(60.5%)では6割を超えています(表2)。

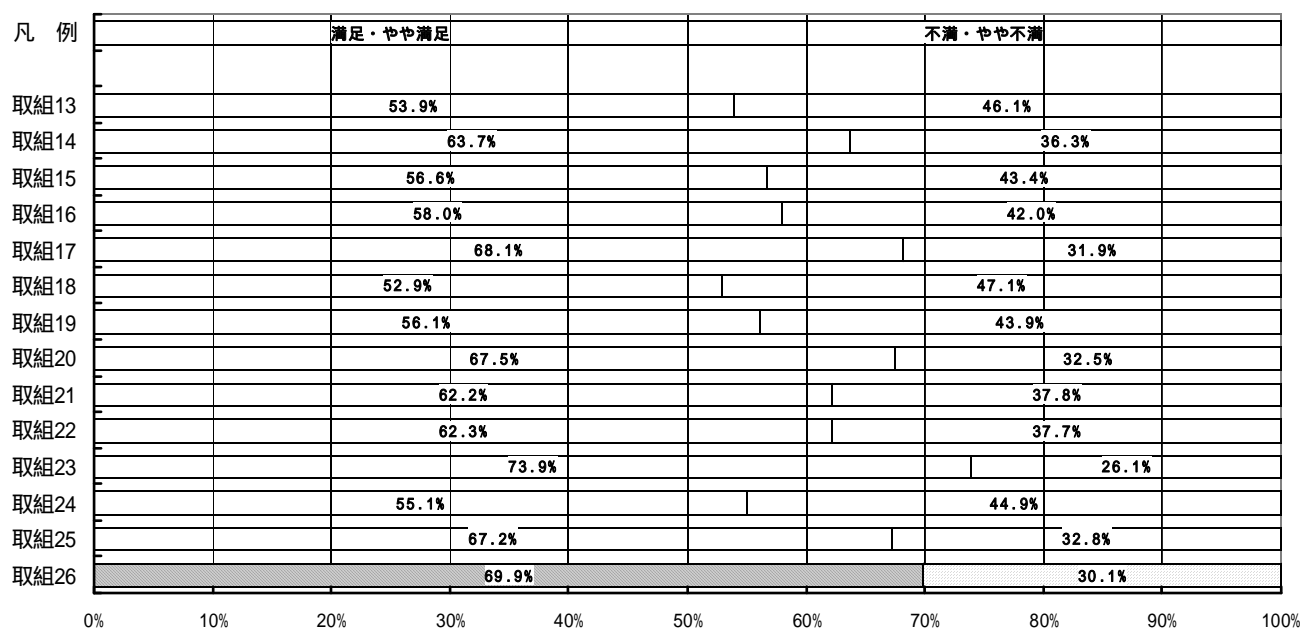
圏域別に満足度が最も高い取組を見ると、仙南、仙台、栗原、登米、石巻圏域では「取組23：生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興」となっており、大崎、気仙沼・本吉圏域では「取組26：外国人も活躍できる地域づくり」となっています(表2)。

図2 - 1 取組13～26に関する満足度（県全体 / 「わからない」の回答者を含む。）



本図は、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「わからない」の5つの選択肢について、それぞれの回答者の割合を表したものです。

図2 - 2 取組13～26に関する満足度（県全体 / 「わからない」の回答者を除く。）



本図は、回答全体から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者のみを「満足・やや満足」と「不満・やや不満」の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

表2 取組13～26に関する回答者属性別満足度

	県全体	男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南圏域	仙台圏域	大崎圏域	栗原圏域	登米圏域	石巻圏域	気仙沼・本吉圏域
取組13	53.9%	49.3%	58.5%	49.3%	70.1%	57.3%	51.1%	47.6%	54.9%	54.3%	54.0%	58.8%
取組14	63.7%	61.5%	66.1%	60.8%	74.1%	63.2%	58.5%	64.1%	66.1%	64.5%	63.0%	68.2%
取組15	56.6%	55.5%	58.1%	52.6%	70.8%	52.6%	51.5%	56.1%	61.2%	61.9%	51.4%	60.2%
取組16	58.0%	56.1%	60.4%	53.6%	73.4%	60.7%	54.3%	56.8%	60.3%	59.7%	54.0%	61.4%
取組17	68.1%	66.9%	69.6%	64.4%	80.7%	68.3%	64.4%	66.0%	70.0%	71.1%	64.7%	72.7%
取組18	52.9%	53.3%	52.7%	48.5%	68.2%	54.3%	48.5%	54.2%	51.9%	57.4%	46.7%	57.4%
取組19	56.1%	53.6%	58.8%	51.7%	70.8%	60.5%	65.7%	62.9%	49.2%	46.0%	54.5%	54.1%
取組20	67.5%	66.0%	69.7%	64.9%	77.8%	63.1%	65.4%	68.0%	72.1%	66.0%	66.9%	72.6%
取組21	62.2%	58.1%	66.3%	60.1%	69.5%	59.1%	61.0%	63.7%	62.8%	68.0%	57.1%	63.7%
取組22	62.3%	60.2%	64.2%	60.0%	69.3%	64.5%	62.2%	61.9%	58.8%	67.9%	55.4%	63.8%
取組23	73.9%	72.9%	75.3%	72.5%	79.0%	74.3%	71.5%	73.3%	73.1%	74.2%	76.4%	77.0%
取組24	55.1%	52.4%	58.3%	52.6%	63.0%	51.8%	60.0%	49.1%	49.7%	61.2%	53.5%	60.5%
取組25	67.2%	65.1%	69.6%	65.8%	72.3%	64.6%	59.7%	69.3%	65.3%	70.2%	69.7%	73.1%
取組26	69.9%	65.8%	74.7%	68.5%	75.2%	64.5%	66.4%	75.6%	63.6%	72.1%	68.1%	78.9%

本表は、回答全体から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者に占める「満足・やや満足」の割合を属性別に表したものです。

(3) 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

政策推進の基本方向・課題		取組
安全な県土づくり 人と自然が調和した美しく	11 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	取組27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献
		取組28 廃棄物等の3R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進
	12 豊かな自然環境，生活環境の保全	取組29 豊かな自然環境，生活環境の保全
	13 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	取組30 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成
	14 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	取組31 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実
		取組32 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進
		取組33 地域ぐるみの防災体制の充実

調査結果の特徴(3)

満足度を評価した回答者のみで県全体の満足度を見ると（図3-2），7つの取組すべてにおいて「満足・やや満足」が6割を超えています。

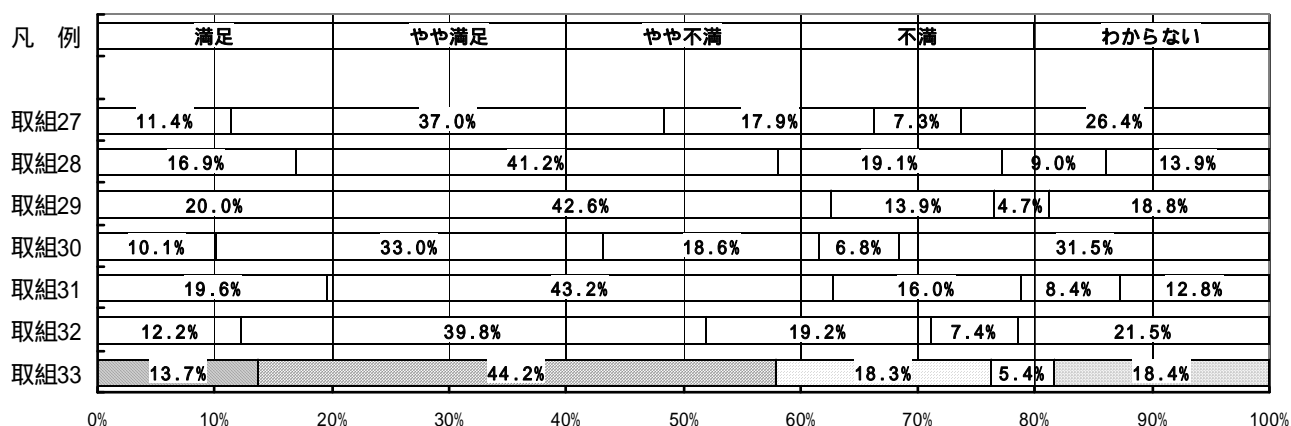
このうち、「取組29：豊かな自然環境，生活環境の保全（77.1%）」、「取組31：宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実（72.0%）」、「取組33：地域ぐるみの防災体制の充実（70.9%）」では、「満足・やや満足」が7割を超える高い数値を示しています（図3-2）。性別では，すべての取組において，男性の「満足・やや満足」の割合が県全体よりも低く，女性では県全体よりも高くなっています（表3）。

年齢別では，すべての取組において，65歳未満の「満足・やや満足」の割合が県全体よりも低く，65歳以上では県全体よりも高くなっています（表3）。

圏域別では，「取組28：廃棄物等の3R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進」において，仙台圏域（60.0%）と登米圏域（77.2%）とで「満足・やや満足」の割合に開きが見られます（表3）。

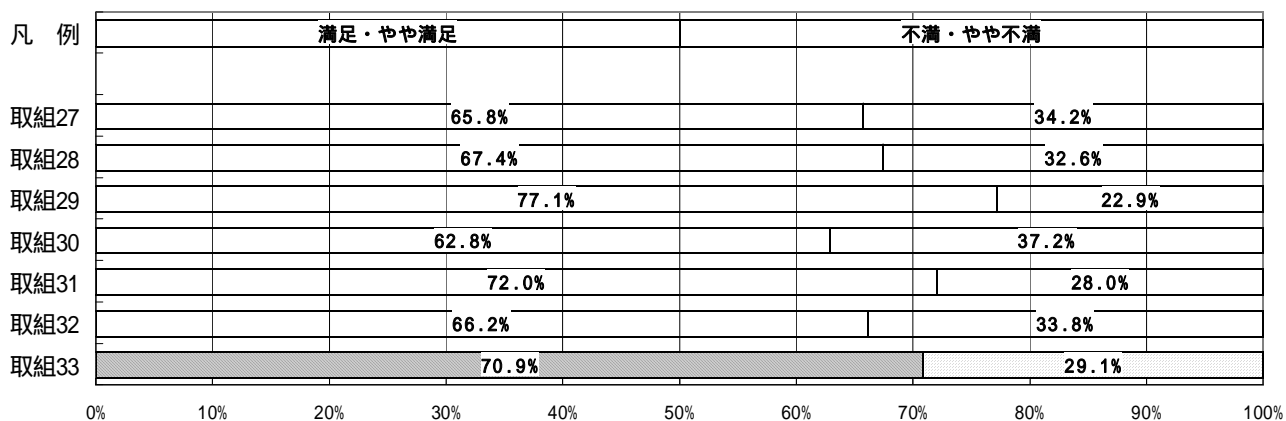
圏域別に満足度が最も高い取組を見ると，栗原圏域では「取組31：宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実」となっており，その他の圏域では「取組29：豊かな自然環境，生活環境の保全」となっています（表3）。

図3 - 1 取組27～33に関する満足度（県全体 / 「わからない」の回答者を含む。）



本図は、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「わからない」の5つの選択肢について、それぞれの回答者の割合を表したものです。

図3 - 2 取組27～33に関する満足度（県全体 / 「わからない」の回答者を除く。）



本図は、回答全体から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者のみを「満足・やや満足」と「不満・やや不満」の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

表3 取組27～33に関する回答者属性別満足度

	県全体	男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南圏域	仙台圏域	大崎圏域	栗原圏域	登米圏域	石巻圏域	気仙沼・本吉圏域
取組27	65.8%	62.0%	70.3%	63.6%	74.6%	63.8%	59.9%	70.2%	59.8%	73.7%	69.7%	67.0%
取組28	67.4%	63.9%	71.4%	65.8%	73.3%	65.4%	60.0%	69.3%	67.4%	77.2%	65.4%	70.0%
取組29	77.1%	72.9%	81.7%	75.6%	82.5%	77.3%	77.7%	83.9%	69.3%	79.8%	71.5%	80.5%
取組30	62.8%	57.6%	68.9%	60.3%	70.4%	61.7%	60.0%	58.9%	62.7%	68.1%	64.8%	63.9%
取組31	72.0%	71.0%	73.2%	70.3%	78.0%	74.3%	66.4%	73.3%	70.9%	74.6%	69.3%	77.0%
取組32	66.2%	64.4%	68.2%	64.1%	73.4%	66.5%	64.1%	63.5%	66.2%	67.9%	63.0%	72.8%
取組33	70.9%	69.5%	72.2%	68.8%	77.2%	69.6%	68.2%	73.2%	67.6%	72.3%	69.5%	75.4%

本表は、回答全体から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者に占める「満足・やや満足」の割合を属性別に表したものです。

2 優先項目

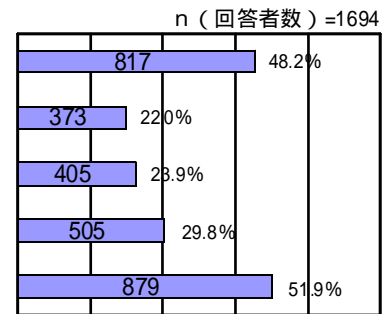
県が今後優先して行うべきと思う項目を33の各取組ごとに調査したところ、次のような結果となりました(複数回答)

(1) 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～

育成・誘致による県内製造業の集積促進

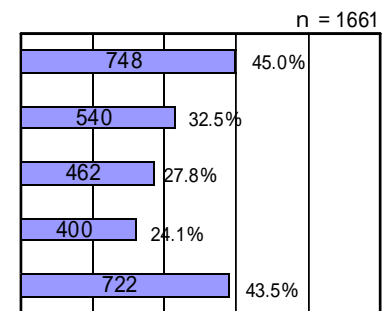
取組1 地域経済を力強く牽引するものづくり産業(製造業)の振興

- ア みやぎ産業振興機構などの産業支援機関と連携して行う、県内製造業の技術力、営業力、販売力などの強化への支援
- イ 自動車関連産業を活発にするための下地となる県内製造業の技術力の向上や設備投資への支援や隣接県の試験研究機関との連携による技術開発への支援
- ウ 岩手・山形県等と連携して関東・東海圏域で商談会を開催するなど、受注機会の拡大
- エ 光関連産業や生活福祉関連産業など市場拡大が期待される分野での、技術開発や製品開発への取組支援
- オ 半導体関連産業など経済波及効果の高い業種や、雇用の増加につながる業種などを中心とした、地域経済の核となる企業の誘致



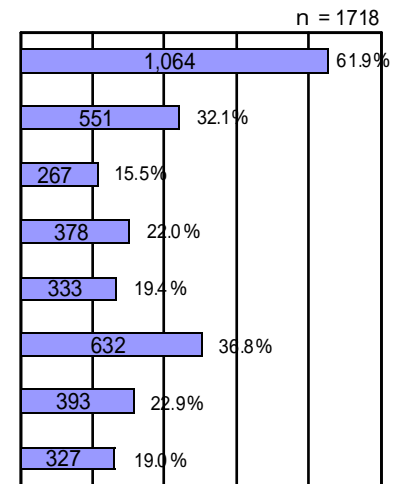
取組2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進

- ア 高度技術を活用した産業を作り出したいと考える企業と大学などの人材や技術の相互交流、共同研究、ネットワークづくり
- イ 大学や県内企業などによるプロジェクトに、国からの大規模な資金を使えるようにするための支援
- ウ 知的財産・未利用特許を持つ県内企業や大学などと、それを使った開発を行える企業の仲介や、そのような技術を利用して行う新製品の開発支援
- エ これから整備される東北大学サイエンスパークなどでの産業界と大学が連携した研究成果を活用した新製品の開発支援
- オ 独自技術を持つ企業の共同研究や、医学と工学が分野を超えて行う研究などによる新製品開発への支援



取組3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興

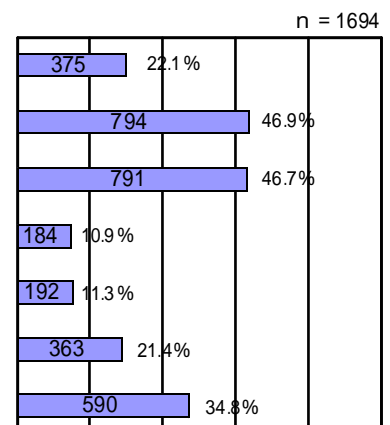
- ア 高齢化社会や健康志向などを踏まえて行う、消費者が求める商品づくり
- イ 新たな加工食品などの開発を、農林水産業、食品製造業者等が協力しながら行う体制づくりへの支援
- ウ 県内での取引を活発にするための、企業間の取引などの仲介
- エ 商品開発力や販売力を強化するための食品製造業の経営革新
- オ 産学官の連携や地域の食文化を生かした新商品開発
- カ 販売競争を有利に進めるための県産食品のイメージアップ
- キ 県や関係機関が協力して行う大規模商談会や、首都圏などで開催される国際規模の商談会での、県産食品の取引拡大に向けた支援
- ク 首都圏などでの市場調査や、企業間の販売や取引の仲介の支援



観光資源・知的資産を活用した商業・サービス産業の強化

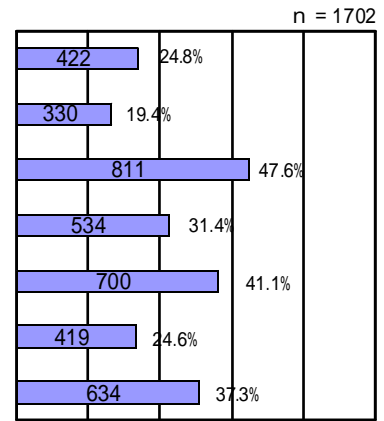
取組4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興

- ア 地域経済を活性化させる新たな事業モデルづくりや、世界規模での商取引や流通の合理化など、経済構造の変化に対応した新たな事業展開に対するアドバイス機能の充実
- イ 地域の住民が主体となって地域の課題解決に取り組み、それにより地域を活性化させるコミュニティビジネスのような、地域や生活に密着したサービス業を行う場合の支援
- ウ 地域住民や公共サービスと連携した地域商業の活性化支援
- エ コールセンターなどの企業(サービス業)の誘致促進
- オ 情報関連技術者の養成と、企業が経営革新する場合の情報関連技術の積極的活用
- カ 情報関連産業で活躍できる高度な技術を持つ人材の育成支援
- キ 健康福祉分野や家電製品の組込みソフトなど、成長が期待される分野での市場占有率獲得を目指した技術習得、人材交流、商品開発などへの支援



取組5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現

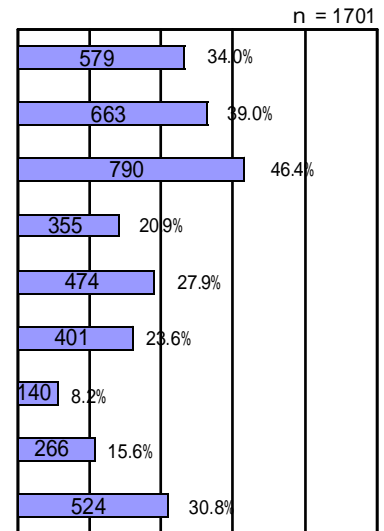
- ア 「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」など催し物や行事を活用した積極的な誘客活動
- イ インターネットや広報媒体などを活用した効果的な情報発信や団塊の世代などのを絞った集客活動
- ウ 地域一体となった「もてなしの心」向上のための取組強化や、だれもが安全安心に観光できる環境づくり
- エ 観光施設及び案内板・標識の整備，バリアフリー・ユニバーサルデザインの普及
- オ 温泉や食材，プロスポーツなど宮城独自の資源を生かした体験・滞在型観光の発掘・整備
- カ 自然環境や伝統文化などを活用したグリーン・ツーリズム及びエコ・ツーリズム推進体制づくり
- キ 東北各県や関係機関との連携による観光ルートの設定など観光推進組織の強化



地域経済を支える農林水産業の競争力強化

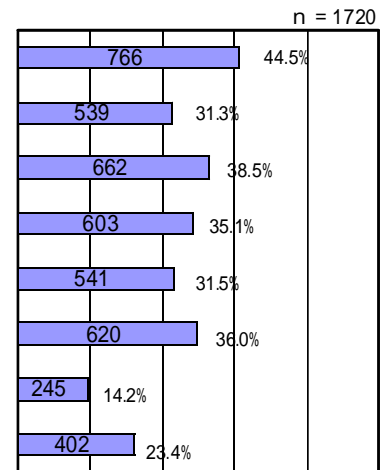
取組6 競争力ある農林水産業への転換

- ア 消費者の視点に立って商品を生産していく農林水産業への転換支援
- イ 「食材王国みやぎ」を支える県産農林水産物のブランド化
- ウ 安全安心な農林水産物の生産と安定供給体制の確立支援
- エ 農業生産規模の拡大や集団化，農業者が生産から流通・加工・販売などを一体で行うアグリビジネスなど，企業の経営の促進
- オ 水産資源の適切な保全と管理，養殖や増殖の推進及び生育環境の保全と改善
- カ 計画的な森林づくりから木材流通までの生産経費の低減，良質な製材品の生産の促進
- キ 農林水産業と流通加工業等との取引の仲介支援
- ク 東アジア市場など海外にも目を向けた，県産食品の輸出促進
- ケ 農林水産業の経営力や技術力の向上と，効率的な生産を支える基盤づくり



取組7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保

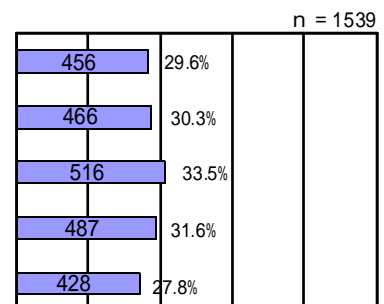
- ア 安全安心な食品の安定供給のための，環境保全型農業を実施する農業者の育成や食品の衛生管理体制の確立
- イ 生産者と消費者の間での食材や食品についての情報共有による相互理解など，安全安心についての信頼関係づくり
- ウ 行政，生産者，事業者，消費者などが連携して行う食の安全安心を支える体制づくり
- エ 地産地消につながる県産食材の学校給食への利用促進
- オ 地元食材を県内で消費できる各地域での仕組みづくりや直売施設の活用・支援
- カ 宮城の豊かな「食」を生かした食育の推進
- キ 県産食材の再認識・再発見を促す情報や機会の提供と県内供給力の向上
- ク 県産材を積極的に使うことが森を育てることにつながる「みやぎの木づかい運動」の推進や，県産材の利用技術の開発支援，「優良みやぎ材」の利用促進



アジアに開かれた広域経済圏の形成

取組8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進

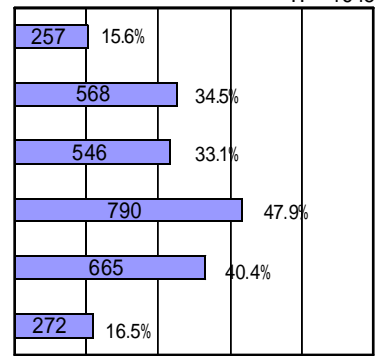
- ア 県の海外事務所や関係機関が連携して行う，国際的事業活動への総合的な支援体制づくり
- イ 海外との取引拡大に向けた市場調査，海外取引事務や知的財産保護対策等の専門知識の提供，アドバイスや取引仲介機能など支援体制の強化
- ウ 県産品の販売先開拓や原材料調達のための商談会開催など，海外との取引機会の拡大支援
- エ 産学共同を推し進めている東北大学と協力するなど，みやぎの優位性を生かした外資系企業・研究機関の立地促進
- オ 東アジア諸国や今後の成長が期待されるロシア極東地域をはじめとする近隣諸国との経済交流の促進



取組9 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成

n = 1648

- ア 山形県との連携に関する基本構想の具体化と連携体制づくり
- イ 自動車関連産業や情報関連産業分野での、岩手・山形両県をはじめとする東北各県との連携促進
- ウ 県境を越えた企業、研究機関の間での役割分担や協体制づくりによる、東北地方への産業集積の支援
- エ 三陸縦貫自動車道をはじめとする、広域的な経済活動を支える交通・情報などのネットワークづくり
- オ 東北各県との連携による広域観光ルートの設定など、観光推進組織づくり
- カ 隣接県と連携した国内外拠点事務所の共同運営や、企業の海外進出を支援する体制づくり

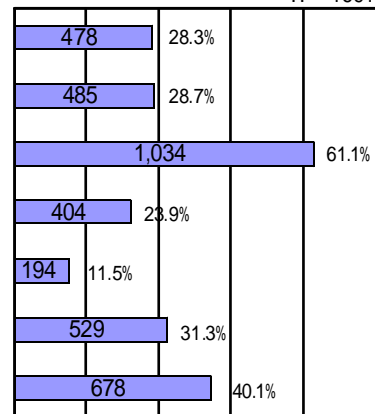


産業競争力の強化に向けた条件整備

取組10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保

n = 1691

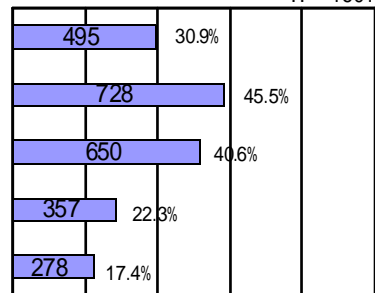
- ア 社会情勢の変化や国際化に対応し、事業のチャンスをつかえ、県経済をリードする次代のリーダーや起業家的人材の育成・定着
- イ 企業での実習と学校での座学を並行して行うなど、学校と地域企業が一体となった産業人材の育成
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の、個々の能力や実績に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 宮城県基幹産業である製造業の発展を担うものづくり人材の育成体制づくり
- オ 県内大学等への留学生など高度な専門知識や技術力を持つ外国人の、卒業後の県内企業や研究機関への就業
- カ まちづくりと連携した、地域の活性化につながる商店街づくりを行いつつ、安定した経営ができる人材の育成
- キ 社会情勢の変化に対応しながら、次代の農林水産業を担う人材・後継者の育成確保



取組11 経営力の向上と経営基盤の強化

n = 1601

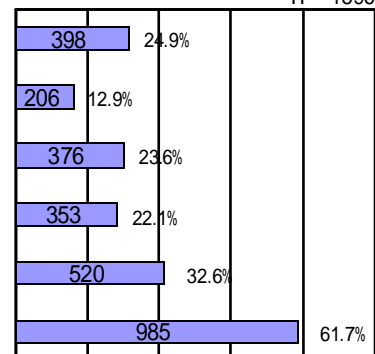
- ア 起業家の育成や事業計画の作成支援など、産業支援機関等と連携したさまざまな経営支援体制の充実
- イ 農林水産業の経営の基礎を固めるための支援と、社会情勢に応じた経営のできる人材育成
- ウ 社会情勢に的確に対応できる経営体の育成のため、商工会議所、農業協同組合など産業界との関連団体と連携して行う情報提供や相談機能強化
- エ 自動車関連産業や食品関連産業など、成長が見込まれ経済の中核をなす業種を、重点的に支援するための制度融資の充実
- オ ファンドや証券化の手法を活用した資金供給、企業の成長性を評価する融資制度づくりなど、中小企業にとっても利用しやすいさまざまな資金調達手段の整備



取組12 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

n = 1596

- ア 貨物量の増加や船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地の造成など、港湾機能拡充のための施設整備
- イ 港湾貨物の需要開拓及び新機航路開設に向けた誘致活動（ポートセールス）の強化
- ウ 仙台港背後地の整備など港周辺地域の貿易関連機能や流通・工業機能の整備促進
- エ 空港の新規路線開設及び運休路線の再開に向けた誘致活動（エアポートセールス）と空港利用促進活動の強化
- オ 仙台空港アクセス鉄道沿線の臨空都市整備など、産業経済拠点づくりに向けた流通・商業機能の整備促進
- カ 三陸縦貫自動車道など高速道路網及び広域ネットワークづくりに向けた道路網の整備促進



(2) 安心と活力に満ちた地域社会づくり

子どもを生き育てやすい環境づくり

取組13 次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり

ア 市町村・企業・NPOなどと連携・協働して行う総合的な少子化対策

イ 育児休業取得の促進や職場復帰しやすい環境づくりなど、職場における仕事と子育ての両立支援対策

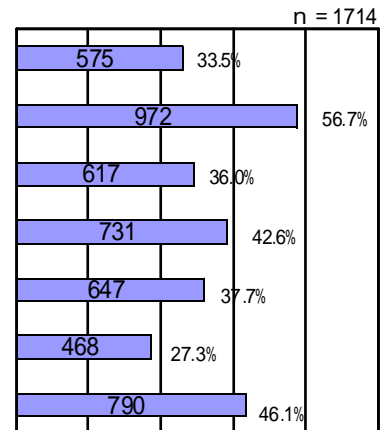
ウ ささまざまな需要に応じた保育サービスの充実

エ 子育て中の親の交流の場を設けたり、放課後の児童の居場所を作るなど、それぞれの地域に合わせた子育て支援の充実

オ 不登校や引きこもりなど悩みを抱える子どもや、子育てに不安・問題を抱える親や家族に対する相談・指導の充実

カ 関係機関が連携した虐待防止体制づくりや、発生予防から早期発見・援助など、素早く的確な対応

キ 県立こども病院での高度で専門的な医療の提供や、周産期・小児医療体制づくりと小児救急医療体制の充実



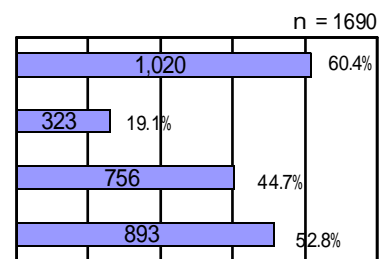
取組14 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成

ア 家庭・地域・学校が協働して行う、子どもの基本的な生活習慣や学習習慣の定着に向けた運動

イ 学校とNPOなどそれぞれの地域のさまざまな主体が連携して行う教育活動

ウ 子どもの活動拠点作りや地域で子どもを教え育てるしくみなど、地域全体で子どもの教育を進めるための組織づくり

エ 家庭・地域・学校が協働し、多くの住民が進んで参画しながら生み出す、子どものさまざまな学習・体験機会



将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり

取組15 着実な学力向上と希望する進路の実現

ア 家庭学習に関する啓発や自習環境の整備など、児童生徒の学習習慣づけの取組

イ 子どもたちの理解が進むような授業ができるよう、教員の教科指導力を上げたり、小学校・中学校・高校が連携を強化する取組

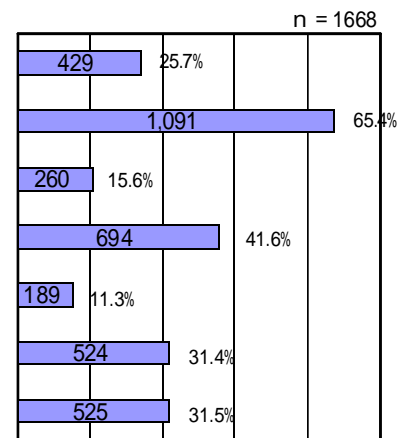
ウ 学習状況調査などによる子どもたちの学力定着状況の把握・分析・公開

エ 子どもたちの進路選択能力を育てるための指導体制の充実と教員が進路指導するための能力・技能の向上

オ 地域の進学指導等の拠点となる高校での取組の充実とその成果の普及

カ 産業界などと連携して行う、子どもたちの発達段階に応じた、一人一人の勤労観・職業観を育てる教育の充実

キ 社会の変化に対応した教育（情報通信技術を活用した教育・国際化に対応した教育・環境教育など）



取組16 豊かな心と健やかな体の育成

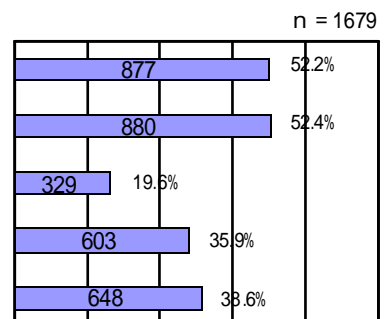
ア ささまざまな社会体験や自然体験など、体験活動の充実や学校教育活動全般を通じた心の教育に関する取組

イ 家庭・地域とが連携して行う、基本的な生活習慣を身につけることの大切さの普及啓発

ウ みやぎアドベンチャープログラムの活用など、子どもたちの豊かな人間関係づくりのための取組

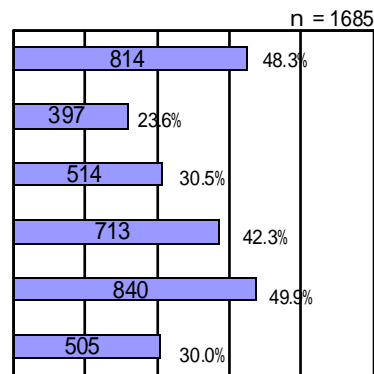
エ スクールカウンセラー・相談員などの学校への配置、専門家・関係機関とが連携して行う教育相談体制の充実と不登校児童生徒への支援

オ 小学校・中学校・高校までの体力・運動能力調査の継続的な実施など、子どもの体力・運動能力向上のための取組



取組17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり

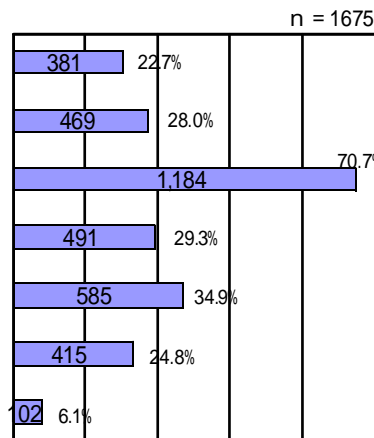
- ア 少人数学級や少人数指導など、子どもたちの実情に応じたきめ細かな教育活動の充実
- イ 学校の再・改編や入学選抜制度改善などによる、時代の要求や教育環境の変化、生徒の多様化・個性化などに応じた魅力ある高校づくり
- ウ 学校の自主性・主体性を生かした学校運営への支援や学校評価の充実などによる地域から信頼される学校づくり
- エ 障害のある子どもも障害のない子どもも、地域の小・中学校で共に学ぶことのできる学習環境づくり
- オ 優秀な教員の確保と、教員の資質向上・学校活性化のための適切な教員評価や教育研修の充実
- カ 学校の耐震化など、安全で快適な教育施設づくり



生涯現役で安心して暮らせる社会の構築

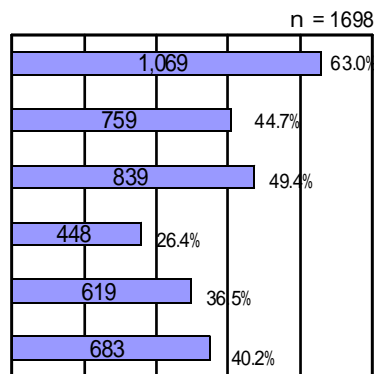
取組18 多様な就業機会や就業環境の創出

- ア 就業形態の変化に応じた、産学官の各種機関が行うさまざまな就業能力開発の機会の提供
- イ 関係機関と連携して行う、非自発的離職者の再挑戦に向けた就業支援
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の、それぞれの経験や能力に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 相談体制の充実や職業選択機会の提供など、若年者に対する総合的な就業環境づくり
- オ 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談・指導体制の充実
- カ 障害者雇用率制度など、障害者も含めた様々な就業環境づくりのための事業者への啓発
- キ 外国人の雇用機会の確保に必要な指導・助言



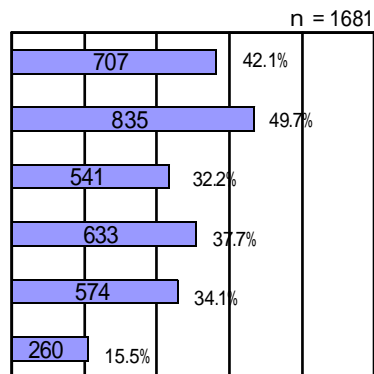
取組19 安心できる地域医療の充実

- ア 全国から県内の自治体病院での勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療を充実させるための医師確保
- イ 県内の各地域ごとの拠点となる病院の整備への支援と、各地域の病院、診療所間の連携・機能分担の促進
- ウ 救急医療を担う人材の育成・確保と、救急医療情報システムの活用により各地域内で救急医療を完結できる体制づくり
- エ 総合的なりハビリテーションが提供できる体制づくりと、県リハビリテーション支援センターの充実
- オ より高度で専門的ながん医療提供のため、県立がんセンターなどがん診療の拠点となる病院の機能強化や在宅緩和ケアの体制づくりなど、総合的ながん対策
- カ 看護職員の確実な確保とその資質向上のために必要となる養成施設などへの支援



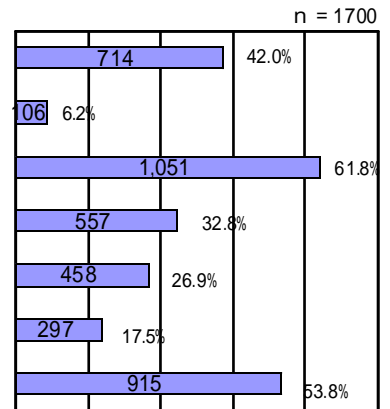
取組20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり

- ア 「みやぎ21健康プラン」にもとづく、バランスの取れた食生活・食習慣の実現や運動習慣の普及・定着など、県民の健康づくり
- イ がん予防のための普及啓発、マンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及
- ウ 地域や学校、家庭、職場などが連携・協力して行う、宮城の特性を生かした総合的な食育
- エ 保健所や衛生研究所、医療機関などが連携した防疫、医療提供、情報提供などの体制づくりと、感染症集団発生に備えた隣県等を含めた広域的な連携体制づくり
- オ 乳幼児期から高齢期まで、一人ひとりの人生の段階に応じた心の健康づくりのための相談、指導体制づくり
- カ 乳幼児に対するフッ化物の活用の推進やそれぞれの年代や地域の実情に応じた歯科保健体制づくり



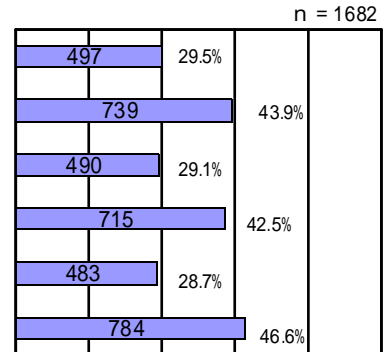
取組 2 1 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり

- ア 高齢者の知識や経験を生かした地域活動への参加促進と、地域活動で中心となって活躍する人材の養成・確保
- イ 仙台市との共催で行う「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」
- ウ 介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心した生活を送るための基盤づくりや地域で共に助け合い支え合うしくみづくり
- エ 専門的知識を持ちながら、介護サービス利用者の立場に立ったサービスを提供できる質の高い人材の養成・確保
- オ 介護予防サービスの提供や、自立した生活を送るための介護予防ケアマネジメント体制づくり
- カ 高齢者などの権利をまもるための体制づくりと県民意識の啓発
- キ 認知症への正しい理解の促進や、かかりつけ医等による認知症の早期発見・早期対応の体制づくりなど、認知症高齢者やその介護家族を支える総合的な支援



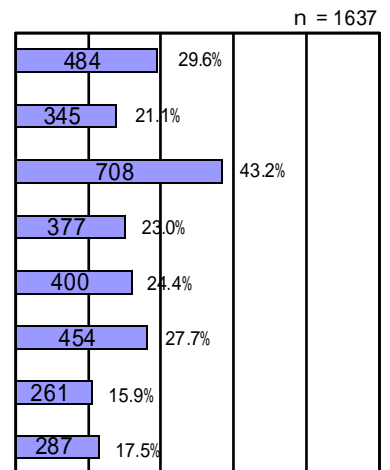
取組 2 2 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現

- ア バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方の普及や、それに配慮した施設づくり
- イ 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談・指導体制の充実
- ウ 障害者の地域生活を支える相談支援体制づくり
- エ 障害の有無や年齢にとらわれない、利用者の要望に応じた福祉サービスの提供や地域での支え合いへの支援
- オ グループホームなど、身近な地域での住まいや日中活動の場などの生活基盤づくり
- カ 難病患者やその家族への、日常生活についての相談支援体制づくりや地域交流活動の促進など、在宅で安心して療養生活を送れるようにするための環境づくり



取組 2 3 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興

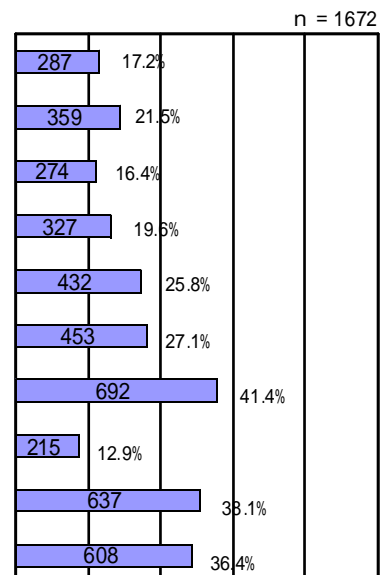
- ア より充実した生涯学習の環境づくりと、学習機関同士の結びつきなどによる県民の自主的な学習活動の支援
- イ みやぎ県民大学の実施など、社会的に求められている学習機会の確保や、地域のさまざまな生涯学習活動を支援する指導者の育成
- ウ 地域に根ざした自主運営型・複合型スポーツクラブの育成・支援など、生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくり
- エ 競技スポーツでの、生徒から学生、社会人までの一貫指導体制づくりや指導者育成対策、競技力向上のための環境の充実
- オ 県民が文化芸術に触れる機会の充実など、文化芸術活動の振興
- カ 地域文化の継承・振興のための取組支援と文化財の保存・活用
- キ 県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流の推進
- ク 宮城県図書館・美術館・東北歴史博物館等の拠点の充実と、関係機関との組織づくり



コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実

取組 2 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実

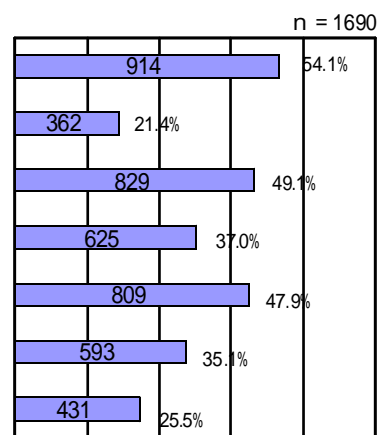
- ア 施設の配置場所、市街地開発など、都市計画の方針を明らかにする都市計画区域マスタープランに基づく良好な市街地づくり
- イ 都市計画を定めることによる適切な土地利用の誘導や公共公益施設の適切な配置
- ウ 鉄道沿線などの市街地整備や既存市街地の再開発
- エ バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方の普及や、それに配慮した施設づくり
- オ 地域住民や公共サービスと連携した地域商業の活性化支援
- カ 豊かな自然環境や独自の伝統文化などを生かした集客交流や産業振興
- キ 全国から県内の自治体病院での勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療を充実させるための医師確保
- ク それぞれの地域での教育に関連した取組への支援や生涯学習の促進
- ケ 地域の日常生活を支えるバス路線など、公共交通の維持支援
- コ 住む場所の違いにより、手に入る情報に差が生じないような情報通信の基盤づくり



だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり

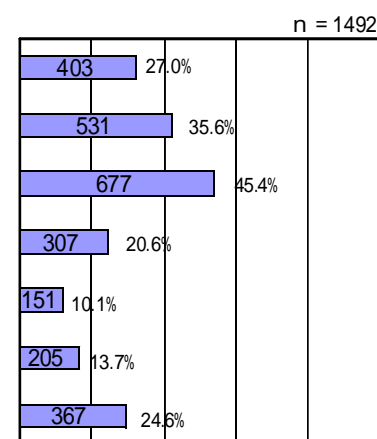
取組25 安全で安心なまちづくり

- ア 「犯罪のない安全・安心まちづくり」のために行政、地域、事業者等が連携して行う県民運動
- イ 住民による自主的な防犯活動を活発にするための啓発活動
- ウ 学校、通学路等の安全対策を進めるなど、子どもを犯罪から守るための環境づくりと安全教育の充実
- エ 子どもや女性、高齢者、障害者、外国人など、防犯の面で特に配慮が必要な人々に対する安全対策の充実
- オ 犯罪の起こしにくい、発生しにくい安全な道路、公園、駐車場などの普及
- カ 飲酒運転撲滅に向けた県民運動など、官民が連携して行う交通事故防止対策
- キ 消費者被害を未然に防ぐための情報提供や啓発活動の充実など、消費生活の安全性の確保



取組26 外国人も活躍できる地域づくり

- ア 多文化共生を進めるための条例・推進プランづくりや、国際交流協会など関係団体と連携した推進体制づくり
- イ 情報を多言語で発信したり日本語学習を支援するなど、外国人が地域の中でコミュニケーションを取りやすくするための支援
- ウ 保健・医療・福祉、防災、労働環境、教育、居住など、外国人の基本的な生活面への支援
- エ 地域社会への意識啓発や外国人の社会参画など、多文化共生の地域づくりへの支援
- オ イタリア・ローマ県など友好地域との交流など、県民・民間団体が主体となった国際交流の促進・支援
- カ 県内でJETプログラムや海外技術研修などを経験し、母国へ戻った外国人を通じた、国際化を進めるためのネットワークづくり
- キ 県内大学への留学生をはじめとする、高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進

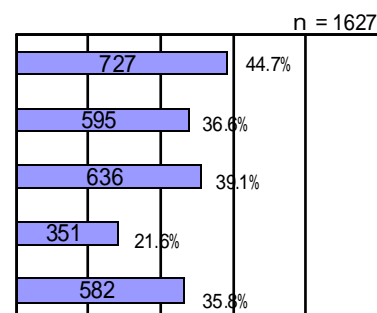


(3) 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

経済・社会の持続的発展と環境保全の両立

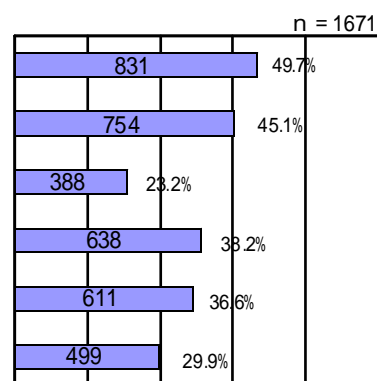
取組27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献

- ア 環境に関する情報の発信と、家庭、学校、地域社会や職場などで環境について学ぶ機会の充実
- イ グリーン購入やエコドライブなど、社会で活動するものすべてが、日常的に、当たり前環境に配慮して行動できるようにするための普及啓発
- ウ バイオマスエネルギーなど我が県の地域特性を生かした自然エネルギーの地産地消や、県民や事業者が一体となった省エネルギー活動などの地球温暖化対策
- エ 県が事業を行う場合の物品購入や入札で、環境に配慮した活動を行う企業や製品を優遇するなどの率先行動
- オ 環境新技術の開発支援や、自然環境の保全や水源かん養など農林産業の多面的機能に注目した取組支援など、環境に配慮した産業活動の支援



取組28 廃棄物等の3R（発生抑制・再利用・再生利用）と適正処理の推進

- ア さまざまな場面での3R活動（ごみを出さない、再利用する、再生利用するなどの取組）を進めるための、県民・事業者・市町村等への啓発活動
- イ 日常生活や事業活動での廃棄物の発生を抑えたり、資源として再利用する取組の推進
- ウ 製品の製造、流通から廃棄までの各段階や、サービスの提供に伴う環境負荷の軽減
- エ リサイクル施設の整備など3Rを支える社会的基盤の充実とリサイクル関連新技術開発
- オ 廃棄物の適正処理を進めるため、廃棄物を出す者の責任意識や県民の理解協力の促進と、不法投棄等不適正処理の根絶に向けた監視指導の強化
- カ 廃棄物処理に関する情報公開を進めることによる透明性の確保と廃棄物処理に必要な施設の維持確保

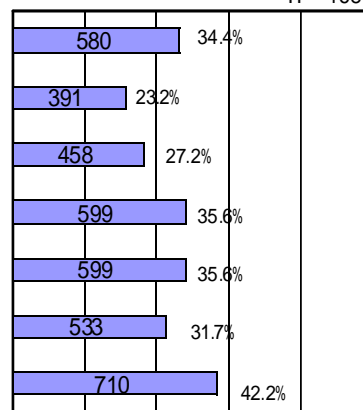


豊かな自然環境，生活環境の保全

取組29 豊かな自然環境，生活環境の保全

n = 1684

- ア 国定公園やラムサール条約湿地など，宮城の自然環境の保全・再生
- イ 多様な野生生物の保護管理
- ウ 住民と民間団体，事業者，行政などが，自然環境に関する情報を共有できる体制づくり
- エ 豊かな自然環境をまもりながら，自然のもたらすやすらぎと潤いを楽しめるエコ・ツーリズムなど，自然環境の賢明な活用
- オ 身近にあるみどり豊かな空間の保全と，自然環境保全意識の醸成
- カ 上流から下流まで流域全体が協力・連携して行う，各流域の特性を生かした水にまつわる環境の保全
- キ 大気汚染や水質汚濁などの改善に向けた，公害に対する調査研究・技術開発

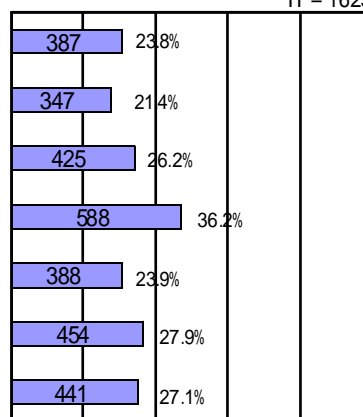


住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成

取組30 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成

n = 1625

- ア 長期的な視点に立った社会資本の新設・保全・更新のしくみづくり
- イ 社会資本の整備計画づくりや完成後の管理に住民意見を取り入れるための体制づくり
- ウ みやぎスマイルロードプログラムなど，道路や河川清掃などへの住民や企業の参画促進
- エ 地域が協働して行う農業水利施設のような地域資源の保全活動や，農山漁村のもつ魅力を生かした都市住民との交流や定住の促進
- オ 全県的な景観形成の方向性の提示と市町村の景観形成への支援
- カ 景観に配慮した公共施設づくりと，規制などによる良好な景観づくりへの誘導
- キ みやぎの良好な景観の選定など，良好な景観づくりのための普及啓発

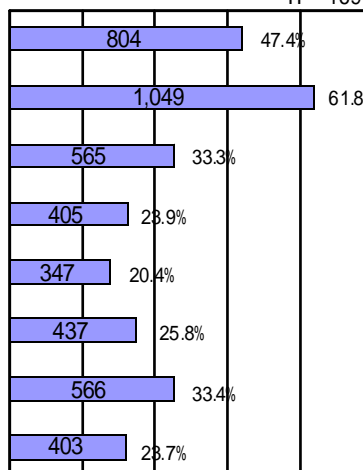


宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり

取組31 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実

n = 1697

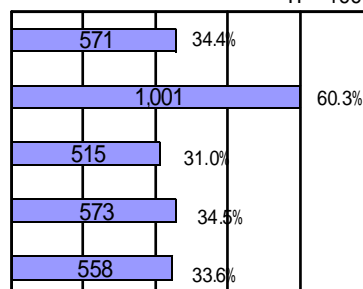
- ア 緊急輸送道路に当たる橋，物資輸送のための岸壁，防災拠点施設となる公共建築物の耐震化の促進や防災公園の整備
- イ 電気，ガス，上下水道などの耐震化と，それぞれの管理者との連携強化による震災時の早期復旧体制づくり
- ウ 住宅等の耐震化の促進
- エ 津波被害を防ぐ水門等の施設整備と，市町村や地域と連携した維持管理の充実
- オ 広報・避難誘導態勢の整備や，住民の防災意識の向上を図る津波に備えたまちづくりなどのソフト対策の促進
- カ GPS波浪計の津波観測や地震計の地震観測など，観測体制の充実
- キ 宮城県総合防災情報システムなどの情報ネットワークの充実
- ク 国，市町村，大学，研究機関が連携して行う地震・津波の調査研究と先端科学技術活用の促進



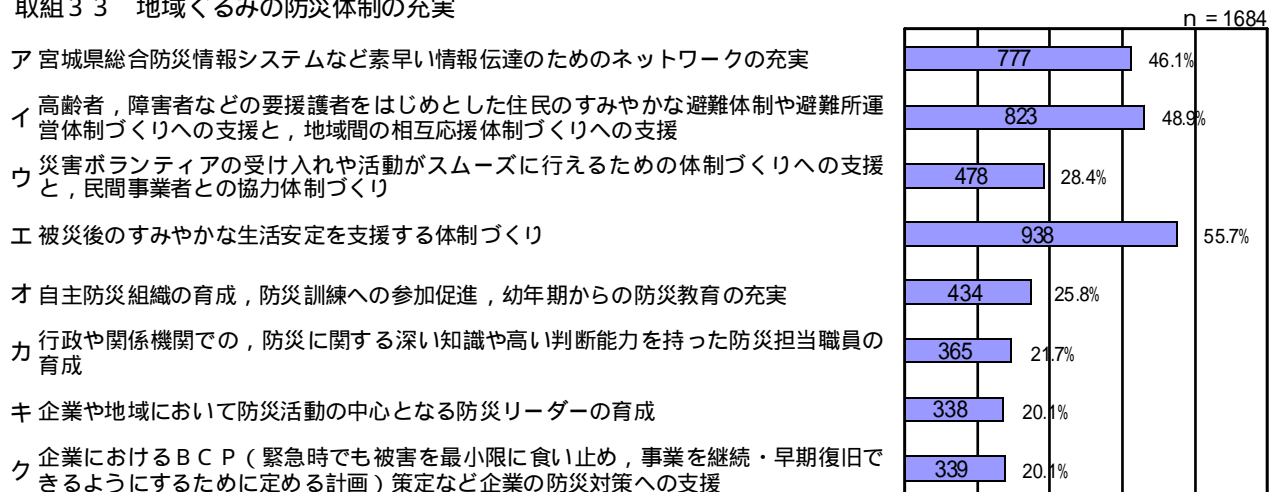
取組32 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進

n = 1661

- ア 宮城県河川流域情報システムなどによる洪水情報提供体制の充実
- イ 洪水被害を防ぐための効果的な河川の整備と堤防・護岸などの維持管理
- ウ 土砂災害を防ぐための砂防ダムなど土砂災害を防止する施設の整備と維持管理
- エ 宮城県砂防総合情報システムなどによる土砂災害情報提供体制の充実と，土砂災害警戒区域の指定などによる市町村と連携した警戒避難体制の整備
- オ 山地災害を防ぎ，水源のかん養，生活環境の保全を図るための治山施設の整備



取組 3 3 地域ぐるみの防災体制の充実



資料編

1 回答者属性一覧

区 分		実数(人)	構成比(%)
一般県民	全体	1,778	
性別	男	860	49.1
	女	893	50.9
年齢	20歳代	147	8.4
	30歳代	248	14.2
	40歳代	282	16.1
	50歳代	469	26.8
	60歳～64歳	190	10.9
	65歳以上	414	23.7
圏域	仙南	230	13.3
	仙台	248	14.5
	大崎	241	14.1
	栗原	274	16.0
	登米	251	14.6
	石巻	224	13.1
	気仙沼・本吉	247	14.4
職業	自営業者	300	17.5
	被用者	595	34.7
	パート・アルバイト	189	11.0
	企業役員・団体代表等	34	2.0
	主婦・主夫	236	13.7
	学生	18	1.0
	無職	302	17.6
	その他	43	2.5
	業種別	農業	145
林業		7	0.7
水産漁業		45	4.7
土木・建築業		103	10.8
製造業		176	18.5
電気・ガス・水道業		22	2.3
運輸・通信業		15	1.6
卸・小売業		45	4.7
金融・保険・不動産業		83	8.7
サービス業		32	3.4
医療・福祉関連業		152	16.0
教育・学習関連業		87	9.2
その他		38	4.0

各属性には不明分があるため、属性ごとの実数の合計と、全体の合計とは一致しません。

率の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合があります。

2 満足度集計表

政策推進の基本方向・課題		宮城の未来をつくる33の取組	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	計	欠損値
1 富県みやぎの 県内総生産10兆円への挑戦	(1) 育成・誘致による 県内製造業の集積促進	取組 1 地域経済を力強くけん引するもの づくり産業(製造業)の振興	147 (8.4%)	568 (32.6%)	284 (16.3%)	129 (7.4%)	617 (35.4%)	1745 (100.0%)	33
		取組 2 産学官の連携による高度技術産業 の集積促進	147 (8.5%)	564 (32.7%)	277 (16.0%)	89 (5.2%)	650 (37.6%)	1727 (100.0%)	51
		取組 3 豊かな農林水産資源と結びついた 食品製造業の振興	274 (16.0%)	776 (45.2%)	285 (16.6%)	127 (7.4%)	254 (14.8%)	1716 (100.0%)	62
	(2) 観光資源、知的資 産を活用した商業・サー ビス産業の強化	取組 4 高付加価値型サービス産業・情報 産業及び地域商業の振興	135 (7.9%)	485 (28.3%)	469 (27.3%)	230 (13.4%)	396 (23.1%)	1715 (100.0%)	63
		取組 5 地域が潤う、訪れてよしの観光王 国みやぎの実現	324 (18.9%)	784 (45.8%)	256 (14.9%)	130 (7.6%)	219 (12.8%)	1713 (100.0%)	65
	(3) 地域経済を支える 農林水産業の競争力強化	取組 6 競争力ある農林水産業への転換	260 (15.3%)	675 (39.8%)	331 (19.5%)	150 (8.8%)	282 (16.6%)	1698 (100.0%)	80
		取組 7 地産地消や食育を通じた需要の創 出と食の安全安心の確保	253 (14.8%)	793 (46.3%)	301 (17.6%)	105 (6.1%)	262 (15.3%)	1714 (100.0%)	64
	(4) アジアに開かれた 広域経済圏の形成	取組 8 県内企業のグローバルビジネスの 推進と外資系企業の立地促進	157 (9.2%)	468 (27.4%)	233 (13.6%)	72 (4.2%)	781 (45.6%)	1711 (100.0%)	67
		取組 9 自律的に発展できる経済システム 構築に向けた広域経済圏の形成	243 (14.3%)	620 (36.5%)	228 (13.4%)	65 (3.8%)	542 (31.9%)	1698 (100.0%)	80
	(5) 産業競争力の強化 に向けた条件整備	取組 10 産業活動の基礎となる人材の育 成・確保	239 (14.0%)	635 (37.3%)	340 (20.0%)	141 (8.3%)	347 (20.4%)	1702 (100.0%)	76
取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化		122 (7.2%)	480 (28.4%)	341 (20.2%)	140 (8.3%)	607 (35.9%)	1690 (100.0%)	88	
取組 12 宮城の飛躍を支える産業基盤の整 備		330 (19.4%)	747 (43.9%)	206 (12.1%)	91 (5.3%)	328 (19.3%)	1702 (100.0%)	76	
2 安心と活力に満ちた地域 社会づくり	(6) 子どもを子育て しやすい環境づくり	取組 13 次代を担う子どもを安心して生 み育てることができる環境づくり	236 (13.8%)	587 (34.4%)	416 (24.4%)	288 (16.9%)	181 (10.6%)	1708 (100.0%)	70
		取組 14 家庭・地域・学校の協働による子 どもの健全な育成	267 (15.7%)	684 (40.1%)	378 (22.2%)	165 (9.7%)	212 (12.4%)	1706 (100.0%)	72
	(7) 将来のみやぎを担 う子どもの教育環境づく り	取組 15 着実な学力向上と希望する進路の 実現	198 (11.7%)	582 (34.5%)	369 (21.9%)	228 (13.5%)	309 (18.3%)	1686 (100.0%)	92
		取組 16 豊かな心と健やかな体の育成	197 (11.7%)	597 (35.6%)	386 (23.0%)	189 (11.3%)	309 (18.4%)	1678 (100.0%)	100
		取組 17 児童生徒や地域のニーズに応じ た特色ある教育環境づくり	256 (15.2%)	710 (42.3%)	319 (19.0%)	133 (7.9%)	262 (15.6%)	1680 (100.0%)	98
	(8) 生涯現役で安心し て暮らせる社会の構築	取組 18 多様な就業機会や就業環境の創 出	162 (9.7%)	554 (33.1%)	413 (24.6%)	224 (13.4%)	323 (19.3%)	1676 (100.0%)	102
		取組 19 安心してできる地域医療の充実	230 (13.5%)	616 (36.1%)	350 (20.5%)	312 (18.3%)	199 (11.7%)	1707 (100.0%)	71
		取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づ くり	230 (13.6%)	722 (42.5%)	334 (19.7%)	124 (7.3%)	287 (16.9%)	1697 (100.0%)	81
		取組 21 高齢者が元気に安心して暮らせる 環境づくり	202 (11.8%)	688 (40.3%)	366 (21.5%)	174 (10.2%)	276 (16.2%)	1706 (100.0%)	72
		取組 22 障害があっても安心して生活でき る地域社会の実現	217 (12.9%)	629 (37.4%)	357 (21.3%)	156 (9.3%)	321 (19.1%)	1680 (100.0%)	98
(9) コンパクトで機能的な まちづくりと地域生活の充 実	取組 23 生涯学習社会の確立とスポーツ・ 文化芸術の振興	247 (14.5%)	766 (45.0%)	259 (15.2%)	98 (5.8%)	331 (19.5%)	1701 (100.0%)	77	
	取組 24 コンパクトで機能的なまちづく りと地域生活の充実	147 (8.8%)	527 (31.7%)	372 (22.4%)	178 (10.7%)	440 (26.4%)	1664 (100.0%)	114	
	取組 25 安全で安心なまちづくり	228 (13.6%)	716 (42.6%)	329 (19.6%)	132 (7.9%)	276 (16.4%)	1681 (100.0%)	97	
(10) だれもが安全に、 尊重し合いながら暮らせ る環境づくり	取組 26 外国人も活躍できる地域づく り	152 (9.0%)	507 (30.1%)	215 (12.7%)	69 (4.1%)	744 (44.1%)	1687 (100.0%)	91	
	3 安全と自然 土が調和した美 しく	取組 27 環境に配慮した社会経済システム の構築と地球環境保全への貢献	192 (11.4%)	622 (37.0%)	301 (17.9%)	123 (7.3%)	443 (26.4%)	1681 (100.0%)	97
取組 28 廃棄物等の3R(発生抑制・再使 用・再生利用)と適正処理の推進		285 (16.9%)	695 (41.2%)	322 (19.1%)	151 (9.0%)	234 (13.9%)	1687 (100.0%)	91	
取組 29 豊かな自然環境、生活環境の保 全		339 (20.0%)	723 (42.6%)	236 (13.9%)	79 (4.7%)	319 (18.8%)	1696 (100.0%)	82	
取組 30 住民参画型の社会資本整備や良 好な景観の形成		168 (10.1%)	549 (33.0%)	310 (18.6%)	114 (6.8%)	525 (31.5%)	1666 (100.0%)	112	
(11) 経済・社会の持 続的発展と環境保全の両 立	取組 31 宮城県沖地震に備えた施設整備 や情報ネットワークの充実	334 (19.6%)	736 (43.2%)	273 (16.0%)	143 (8.4%)	219 (12.8%)	1705 (100.0%)	73	
	取組 32 洪水や土砂災害などの大規模自然 災害対策の推進	206 (12.2%)	673 (39.8%)	324 (19.2%)	125 (7.4%)	363 (21.5%)	1691 (100.0%)	87	
	取組 33 地域ぐるみの防災体制の充実	228 (13.7%)	735 (44.2%)	305 (18.3%)	90 (5.4%)	306 (18.4%)	1664 (100.0%)	114	

調査対象者数 4,000人, 回答者数1,778人, 回答率44

率の合計については, 端数処理の関係により100%にならない場合があります。

本資料の内容に関する問合せ先：宮城県企画部行政評価室

電 話 0 2 2 - 2 1 1 - 2 4 0 6

E-mail g-hyoka@pref.miyagi.jp